

地域美術館 at きつき城下町資料館

杵築の 美術と風土

— 大分県立美術館 コレクション —

OPAM
Oita Prefectural Art Museum



福田平八郎スケッチ《オニオコゼ・サザエ》(部分) 1954年

福田平八郎スケッチ《蜜柑》1956年

2023年

10月5日 木
- 24日 火

[休館日] 水曜日

会場

きつき城下町資料館
2階 企画展示室

〒873-0002 杵築市南杵築193番地1

時間

10時～17時
(入場は16時30分まで)

観覧料

一般 300円(240円) / 小・中学生 150円(120円)

主催：公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館

共催：杵築市、杵築市教育委員会

福田平八郎スケッチ
《白菜、筍、蟹、ハゼ、
コオロギ》(部分)

1923年



高橋草坪《秋山負手行図》(部分) 1832(天保3年)



地域美術館 at きつき城下町資料館

杵築の

美術と風土

— 大分県立美術館 コレクション —



河井寛次郎《小鹿田焼 茶碗》1954年



河合誓徳《みかん畑》2003年

杵築市に大分県立美術館の美術作品がやってくる!

大分県立美術館は、大分県ゆかりの美術家を中心として、5000点を超える多様な美術作品、資料を収蔵しています。当館では「地域美術館」と称して、こうした収蔵品を県内地域で展示し、その地域に関わる美術や歴史等を学び、楽しむ機会を提供する展覧会を実施しています。R5年度は杵築市の「きつき城下町資料館」にて開催いたします。

本展では、杵築で南画をひろめた杵築藩士の十市石谷(1793-1853)や、杵築の商屋に生まれ、田能村竹田の高弟となった高橋草坪(1804-1835)など、江戸後期の画家たちが

描く山水画や花卉図をはじめ、杵築の海の幸や山の幸など、豊かな風土を髣髴させる日本画家・福田平八郎(1892-1974)のスケッチ、戦後の日展で活躍した日本画家・高山辰雄(1912-2007)による別府湾の風景版画、地元大分の県美展を牽引した日本画家・田川奨(1915-1994)、洋画家・多郵常(1925-2006)、さらには網代編を得意とした竹工芸作家・市原華雲斎(1916-1995)など、近世から近現代まで、多彩な作品を紹介します。展示作品を通して、皆様に郷土の豊かさや新たな視点を示すことができれば幸いです。

関連イベント

ギャラリートーク

日時:2023年10月8日(日) 14:00~15:00

講師:柴崎香那(大分県立美術館学芸企画課学芸員)

場所:きつき城下町資料館 2階 企画展示室

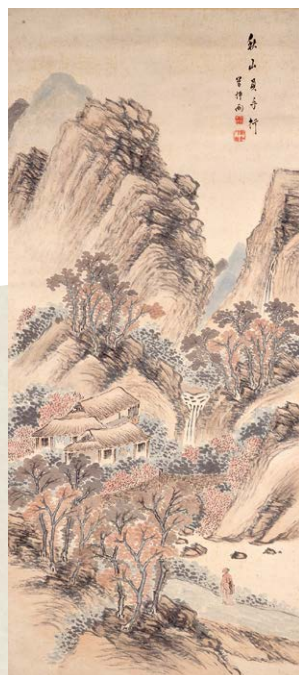
※事前申し込み不要。参加費無料(※きつき城下町資料館の観覧料は必要)



高山辰雄《限りなき大分 空に映ゆる(由布・鶴見・別府)》1981年



福田平八郎スケッチ《オニオコゼ・サザエ》1954年



高橋草坪《秋山負手行図》1832(天保3)年

お問合せ

OPAM 大分県立美術館
Oita Prefectural Art Museum

〒870-0036 大分市寿町2番1号
Tel: 097-533-4500 Fax: 097-533-4567
JR大分駅府内中央口(北口)から徒歩15分 大分ICから車で10分
<https://www.opam.jp>

展覧会情報

